

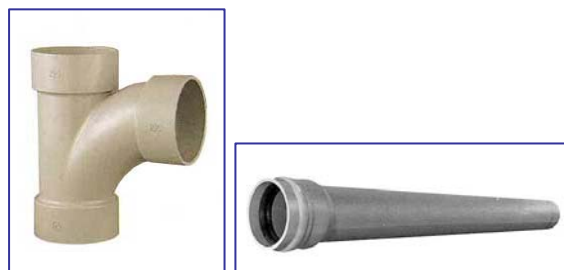
日本プラスチック工業株式会社

1 工場概要

- ▶ 住所 本社・本社工場：愛知県小牧市大字東田中字西田100番地1
美濃工場：岐阜県美濃市長瀬434番地
- ▶ 従業員数 本社・本社工場：87名(その他契約社員11名、協力会社17名) 合計115名
美濃工場：25名(その他契約社員5名、協力会社2名) 合計 32名
- ▶ 敷地面積 本社・本社工場：25,767㎡
美濃工場：8,227㎡

2 事業概要

- ▶ 事業内容
- ・プラスチック製品の製造加工ならびに販売
 - ・管工事の請負施工に関する業務
 - ・上記に付帯する一切の業務



▶ 主要製品

本社工場

- ・各種硬質塩化ビニル管
- ・下水道用硬質塩化ビニル管
- ・水道用ポリエチレン二層管
- ・下水道推進工法用硬質塩化ビニル管
- ・硬質塩化ビニル管用継手
- ・ABS、PP、塩ビ等コアパイプ

美濃工場

- ・ポリスチレンシート
- ・ポリエチレンシート
- ・ポリスチレンプレート

3 工場変遷

- 昭和27年11月26日 名古屋市に会社設立。軟質塩化ビニルシート、硬質塩化ビニル管用コンパウンド、各種押出成形品の製造販売を開始。
- 昭和31年 8月 硬質塩化ビニル管製造販売を開始。
- 昭和36年10月 本社及び工場を小牧市に移転。
- 昭和39年 7月 硬質塩化ビニルシートの製造販売を開始。
- 昭和56年 4月 ポリエチレン管の製造販売を開始。
- 平成 2年10月 岐阜県美濃市に工場建設し、シートの生産を本社から移設して生産開始。
- 平成10年12月 ISO9002審査登録
- 平成12年10月 ISO14001審査登録
- 平成13年 3月 美濃工場が岐阜県環境優良事業所となる
- 平成14年12月 ISO9001:2000移行認証取得
- 平成17年 7月 ISO14001:2004移行認証取得

4 環境方針

▶ ISO環境方針

日本プラスチック工業株式会社本社、本社工場及び美濃工場は、地球環境保全が人類共通の課題であり、企業の責務であることを認識し、環境保全に万全の配慮と不断の努力を行います。

- 1) 硬質塩化ビニル管及び2次加工品の製造、ポリエチレン等のプラスチック管の製造、ポリスチレン・ポリエチレン等のプラスチックシート及びプレートの製造における生産活動で、環境マネジメントシステムを構築し、継続的維持、改善及び汚染の予防を図り、以下の環境保全に努めます。
 - ① 廃棄物のリサイクル化及び減量化を推進します。
 - ② 設備や機器の高効率化と生産プロセスの改善により電力等の省エネルギーを推進します。
 - ③ 技術的、経済的に可能な範囲で騒音レベルの改善及び水質汚濁防止を推進します。上記の環境目的及び目標を定めると共に、それらの達成のため環境マネジメントプログラムを作成し、その推進に当社で働く全ての人が一丸となって努力します。
- 2) 環境関連法、条例及び当社が同意したその他の要求事項を順守することに努めます。
- 3) 地域との調和を図ると共に、地域の環境保全活動に積極的に参加します。
 - ・この環境方針は、教育及び啓蒙活動を行い、当社で働く全ての人に周知徹底を図ります。
 - ・この環境方針は、一般の人でも入手できます。

平成19年4月1日
日本プラスチック工業株式会社
代表取締役社長
結 城 博

▶ ISO認証取得状況

- 平成12年10月 ISO14001(財)日本規格協会に審査登録(JSAE276)
- 平成13年10月 ISO14001第1回定期維持審査実施
- 平成14年10月 ISO14001第2回定期維持審査実施
- 平成15年 9月 ISO14001第1回更新審査実施
- 平成16年 7月 ISO9001第2回更新審査、ISO14001第1回-1定期維持審査(Q/E複合審査)実施
- 平成17年 7月 ISO9001第2回-1定期維持審査、ISO14001第1回-2定期維持審査(Q/E複合審査)実施
- 平成18年 7月 ISO9001第2回-2定期維持審査、ISO14001第2回更新審査(Q/E複合審査)実施
- 平成19年 7月 ISO9001第3回更新審査、ISO14001第2回-1定期維持審査(Q/E複合審査)実施

日本プラスチック工業株式会社

5 目標及び実績

本社・本社工場

課題	テーマ	管理指標	基準年度	2006年度		
				目標	成果	自己評価
循環型社会の形成	産業廃棄物総排出量の削減	排出量	2005	▲10%	▲13.7%	◎
	ゼロ・エミッション化	再資源化率	—	95%	96%	◎
地球温暖化防止	温室効果ガス削減	CO ₂ 原単位	—	—	—	
	CO ₂ 総排出量	t-CO ₂	2003	▲2%	3.1%	×
	物流のCO ₂ 削減	t-CO ₂	—	—	—	
有害科学物質の削減	VOC大気排出量削減	削減率	—	—	—	

美濃工場

課題	テーマ	管理指標	基準年度	2006年度		
				目標	成果	自己評価
循環型社会の形成	産業廃棄物総排出量の削減	排出量	2005	▲14%	▲35.4%	◎
	ゼロ・エミッション化	再資源化率	—	99%	※	※
地球温暖化防止	温室効果ガス削減	CO ₂ 原単位	2003	▲2%	※	※
	CO ₂ 総排出量	t-CO ₂	1990	1990年度以下	※	※
	物流のCO ₂ 削減	t-CO ₂	2003	▲2%		
有害科学物質の削減	VOC大気排出量削減	削減率	2003	▲30%		

※自己評価の基準 ◎:目標超過達成 ○:目標達成 △:目標一部達成 ×:目標未達成

日本プラスチック工業株式会社

6 環境会計

① 環境投資

本社工場

2006年度: 199.4万円

ISO認証取得時(2000、2001)に環境投資を多く行いましたが、2003年以降は横ばい状況にあります。

2006年度は、危険物倉庫に防液溝設置、緑地整備、排気設備設置(作業環境)等

美濃工場

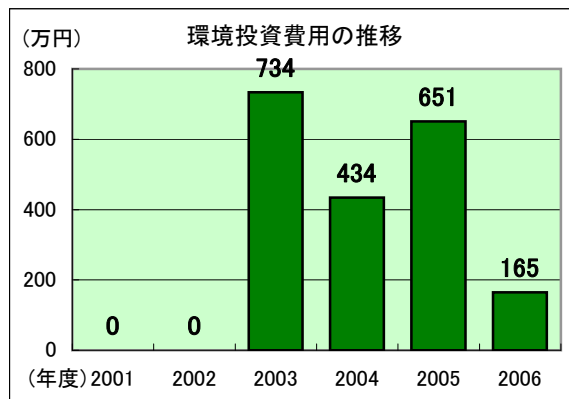
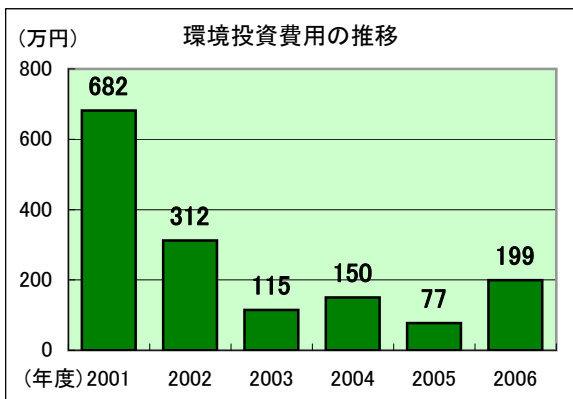
2006年度: 165万円

2003年度は、省エネ対策でDCモーターのINV化(2台)

2004年度は、騒音対策で管理室エアコンを低騒音タイプにする、防音工事等

2005年度は、防音粉砕機導入、既設粉砕機の防音対策、冷却水の一部を閉ループ化、ストレッチ包装機などを実施

2006年は、粉砕機に防音BOX導入(3台)等



日本プラスチック工業株式会社

② 環境保全効果

本社工場

効果の内容	効果	2005年度	2006年度	効果	対前年度比
事業活動に投入する資源に関する効果	エネルギー使用量(熱換算GJ)	107,569	109,753	2,184	102.0%
	水使用量(m ³)	176,477	121,949	▲ 54,528	69.1%
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	CO ₂ 排出量(t)	4,301	4,421	120	102.8%
	SO _x 排出量(t)	—	—	—	—
	NO _x 排出量(t)	—	—	—	—
	ばいじん排出量(t)	—	—	—	—
	PRTR対象物質排出・移動量(t)	0.09	0.026	▲ 0.064	28.9%
	廃棄物排出量(t)	39.9	34.4	▲ 5.5	86.2%
	廃棄物埋立量(t)				

美濃工場

効果の内容	効果	2005年度	2006年度	効果	対前年度比
事業活動に投入する資源に関する効果	エネルギー使用量(熱換算GJ)	41,552	44,028	2,476	106.0%
	水使用量(m ³)	124,132	96,394	▲ 27,738	77.7%
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	CO ₂ 排出量(t)	—	—	—	—
	SO _x 排出量(t)	—	—	—	—
	NO _x 排出量(t)	—	—	—	—
	ばいじん排出量(t)	—	—	—	—
	PRTR対象物質排出・移動量(t)	—	—	—	—
	廃棄物排出量(t)	4.2	2.7	▲ 1.50	64.3%
	廃棄物埋立量(t)				

③ 経済効果

本社工場

2006年度:855.1万円

2005年度(平成17年)下期から生産時に発生する塩ビ廃棄物を有価物化実施開始。

分類	内容	年間効果
省エネルギー対策	大型集塵機停止による電力削減、1000Lミキサー増速による電力削減他	336.1 万円
ゼロ・エミッション化対策	廃棄物の有価物化	227.4 万円
合計		563.5 万円

日本プラスチック工業株式会社

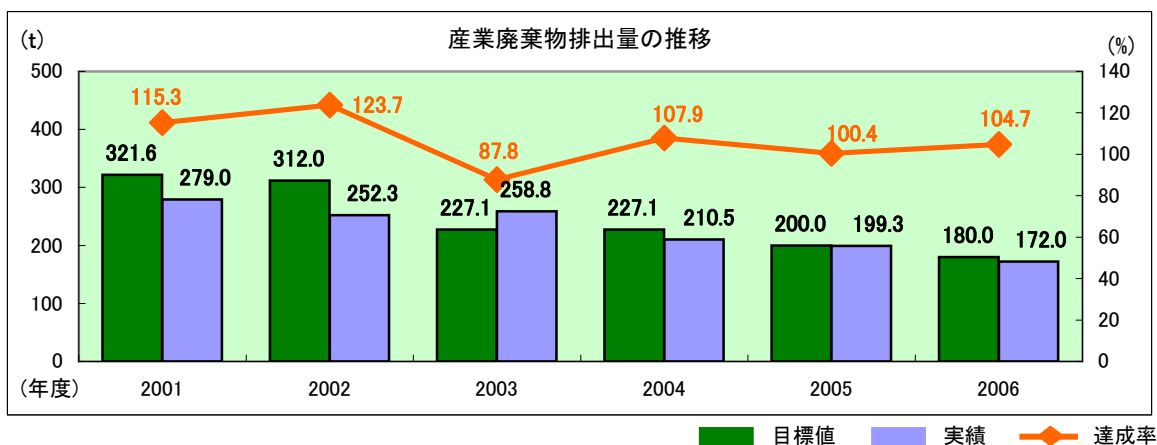
7 環境パフォーマンス

① 循環型社会の形成

廃棄物排出量の削減

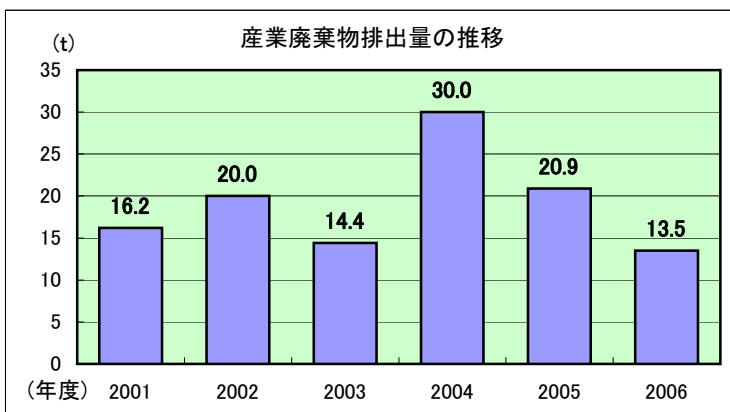
本社工場

2005年度より塩ビパイプ屑の有価物化を実施しており、年々減少傾向にあります。
現在のリサイクル率95%以上を達成しています。



美濃工場

2002年度、2003年度は生産量の大幅増により、産業廃棄物も増加しました。
その後は減少傾向にあります。



ゼロ・エミッション化

本社工場

2005年度からリサイクル率95%以上を目標に取り組んでおります。

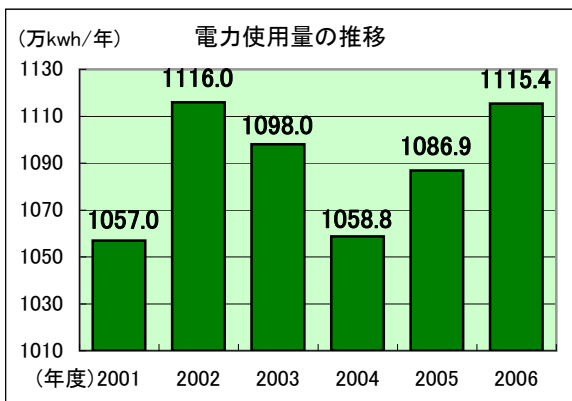
	2005	2006	2007
目標値	90.0	95.0	95.0
実績	94.2	96.3	
達成率(%)	104.7	101.4	

日本プラスチック工業株式会社

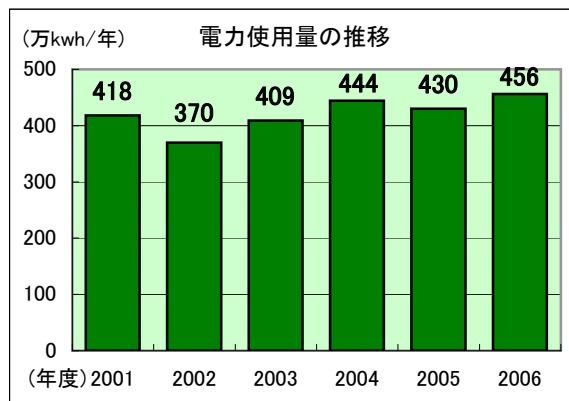
② 地球温暖化の防止

温室効果ガスの削減

本社工場

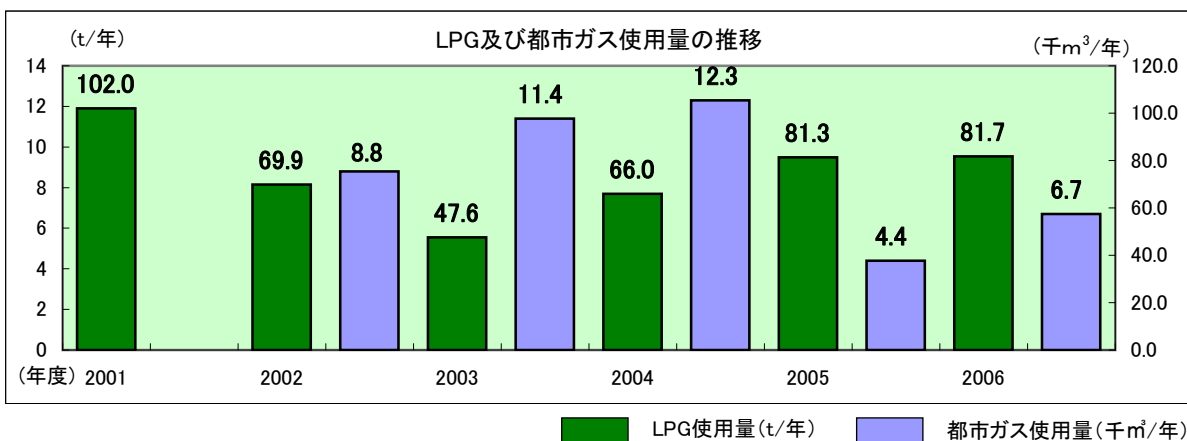


美濃工場



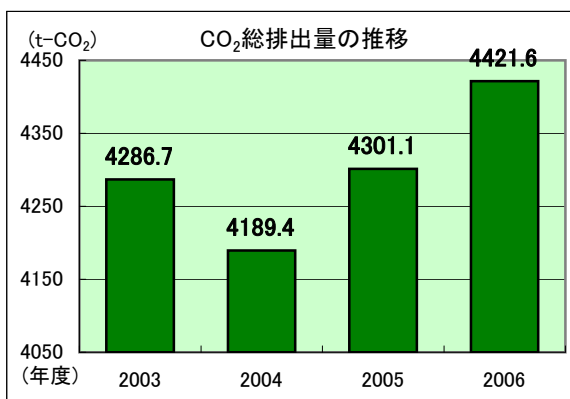
LPG及び都市ガス使用量の削減

本社工場



CO₂総排出量の削減

本社工場



※ 目標値は、平成15(2003)年度を基準として、3年後に2%削減する。

日本プラスチック工業株式会社

③ 有害化学物質の削減

PRTR法対象物質の排出量・移動量

本社工場

(kg)

政令No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
230	鉛及びその化合物	1	—	—	—	—	26

※美濃工場は対象外

8 環境コミュニケーション

① 地域の皆様との交流

本社工場

名称 東田中地区盆踊りに参加および寄付

日付 平成18年7月

名称 東田中地区秋祭りに参加および寄付

日付 平成18年10月

美濃工場

名称 長瀬地区町内春祭りに缶ビール1ケース、缶ジュース1ケースを寄付

日付 平成18年4月7日

名称 長瀬地区盆踊りに缶ビール1ケース、缶ジュース1ケースを寄付

日付 平成18年8月10日

② 地域美化活動

本社工場

名称 年末工場周辺清掃活動

日付 平成18年12月29日

参加人数 28名

名称 環境月間本社工場周辺清掃活動

日付 平成19年6月28日

参加人数 18名

美濃工場

名称 長瀬地区町内清掃活動に参加

日付 平成19年5月20日

参加人数 日本プラスチック工業(2名)

町内からの参加者(30~40名)

日本プラスチック工業株式会社

9 サイトデータ～本社・本社工場

▶ INPUT

項目	単位	使用量	熱量換算GJ	
エネルギー	電気	万kWh	1,115	98,827
	石炭コークス	t	—	—
	都市ガス	千m ³	81.7	3358
	灯油	kℓ	0.5	18
	ガソリン	kℓ	14.0	484
	重油	kℓ	—	—
	LPG	t	6.7	336
	他		—	—
合計		1217.9	103,023	

水使用量	万m ³	12.2
------	-----------------	------

▶ OUTPUT

CO ₂ 排出量	t-CO ₂	6,413
---------------------	-------------------	-------

2007年6月28日実施

放流先	項目	単位	排水口名:パイプ工場		排水口名:加工工場	
			規制値	測定値	規制値	測定値
公共用水域	pH	—	0.5~8.6	7.5	0.5~8.6	7.2
	BOD	mg/ℓ	160	<0.5	160	<0.5
	COD	mg/ℓ	160	0.7	160	<0.5
	SS	mg/ℓ	200	<1.0	200	<0.1
	N-ヘキサン	mg/ℓ	5	<0.5	5	1.6
	鉛及びその化合物	mg/ℓ	0.1	0.04	0.1	—
	亜鉛	mg/ℓ	0.1	0.01	0.1	—
	COD総量規制値	kg/日	—	—	—	—
	窒素総量規制値	kg/日	—	—	—	—
	りん総量規制値	kg/日	—	—	—	—
下水道	pH	—	5.7~8.7	—	5.7~8.7	—
	BOD	mg/ℓ	300	—	300	—
	COD	mg/ℓ	—	—	—	—
	SS	mg/ℓ	300	—	0.3	—

廃棄物排出量	t	34.4
再資源化率	%	96.3

日本プラスチック工業株式会社

9 サイトデータ～美濃工場

▶ INPUT

項目	単位	使用量	熱量換算GJ	
エネルギー	電気	万kWh	456	40,417
	石炭コークス	t	0	
	都市ガス	千m ³	0	
	灯油	kℓ	0	
	ガソリン	kℓ	0	
	重油	kℓ	0	
	LPG	t	0	
	他		0	
合計		456	40,417	

水使用量	万m ³	9.6
------	-----------------	-----

▶ OUTPUT

CO ₂ 排出量	t-CO ₂	6,413
---------------------	-------------------	-------

2007年6月28日実施

排水	放流先	項目	単位	排水口名:工場排水	
				規制値	測定値
公共用水域		pH	—	5.8~8.6	6.6
		BOD	mg/ℓ	30	<0.5
		COD	mg/ℓ	20	<0.5
		SS	mg/ℓ	200	<1.0
		N-ヘキサン	mg/ℓ	5	0.6
		鉛及びその化合物	mg/ℓ	—	—
		亜鉛	mg/ℓ	—	—
		COD総量規制値	kg/日	—	—
		窒素総量規制値	kg/日	—	—
		りん総量規制値	kg/日	—	—
下水道		pH	—	5.7~8.7	—
		BOD	mg/ℓ	300	—
		COD	mg/ℓ	—	—
		SS	mg/ℓ	300	—
廃棄物排出量		t	2.7		
再資源化率		%	99以上		